

艇跡

2018年7月号

発行：名古屋工業大学ボート部

編集：大原雅弥 杉野和美 深谷周平 竹内美月
杉山穂乃佳 林英璃奈 望月美佐

日ごとに暑さが増しておりますが、いかがお過ごしでしょうか。

インカレまで残り2ヶ月を切りました。この1年間、今までの大会や練習で見つけた課題と向き合いながら、今年こそインカレで勝利を収めるために、日々の練習に励んできました。

目標を達成することができるよう、部員一同、これからも全力で突き進んで参りますので、ご支援、ご声援のほどよろしくお願いたします。



目次

名古屋工業大学・名古屋大学対校競漕大会	2
中日本レガッタ	5
学内レガッタ	8
冬期トレーニング報告	9
今後の予定	10

名古屋大学・名古屋工業大学対校競漕大会

暖かい日差しのなか、第63回名古屋大学・名古屋工業大学対校競漕大会が行われました。現役は全艇、準優勝という悔しい結果になってしまいましたが、冬のトレーニングによって培われた自身の成長を感じられる大会になりました。今大会で感じた悔しさを糧にし、各々の課題を克服すべく精進してまいります。

日程：2018年3月25日(日)

場所：愛知県名古屋市中川区 庄内川 現役クルー 明徳橋～大蟇螂橋 1700m

OBエイト 正徳橋～大蟇螂橋 1000m

出漕クルー：男子エイト

C:渡辺紘平① S:永島健太郎③ 7:林 和史③
 6:梶浦拓海② 5:会田知朗① 4:山田 俊①
 3:美奈川拓真① 2:縣 和哉④ B:山田拓哉④

女子ダブルスカル
 女子シングルスカル
 OBエイト

S:平子ともみ③ B:足立知里②
 水鳥 律④

C:大原雅弥③ S:早田陽紀(H27) 7:土岐良太(H20)
 6:山口貴弘(H16) 5:羽生田真英(H17) 4:出口悠人(H26)
 3:木村正徳(S62) 2:入山暖輝④ B:神谷悠太(M2)

○内、()内はそれぞれ学年や卒業年を示します。

◆男子エイト◆

着順	クルー名	タイム
1	名古屋大学	5:42.47
2	名古屋工業大学	6:05.66

◆女子ダブルスカル◆

着順	クルー名	タイム
1	名古屋大学	7:26.42
2	名古屋工業大学	7:26.90

◆女子シングルスカル◆

着順	クルー名	タイム
1	名古屋大学	8:36.96
2	名古屋工業大学	9:01.94

◆OBエイト◆

着順	クルー名	タイム
1	名古屋工業大学	3:51.16
2	名古屋大学	3:52.06



女子ダブルスカルのけりだしの様子です！



男子エイトのレース前の様子です！



OB エイトのけり出しの様子です！

●クルーの言葉●

男子エイト 7:林 和史(3年)

名大にはパワー面で勝てないことは分かっていたので、より「大きく」漕ぐことを意識して練習に取り組みました。しかし、試合は無念にも序盤からじりじりと離され、その差は詰まることもありませんでした。

名大戦の大きな敗因として、やはり体力面に大きな差があったと思います。名工大と名大のエイトメンバー8人分の2000mエルゴタイムを平均した結果、名工大は7:06、名大は6:46で20秒分も差がありました。これは実に名大戦の試合のタイム差に相当します。

私は「エイト」という大規模な艇で名大に勝つためには、何よりもそれ相応の人材が必要で、継続的な組織力向上が欠かせないと考えています。単科大学の名工大に比べて名大は総合大学で母数が多いという事実は昔から変わりませんが、男子漕手が30名以上在籍している名大に対して名工大は6名しかいません。そうした点でも①「新歓の継続的な成功により人材を確保すること」や②「新歓の継続的な成功のため、ノウハウを責任を持って引き継いでいくこと」は必須と考えます。これは監督が不在である以上、毎年の担当者が責任を持って実行していくほかありません。

さて、私は4年を通じて名大に4戦4敗です。対校戦で負けたことで、相手から常に”格下”に見られているように思えてしまうことが悔しくてなりません。この悔しさを晴らす為にも、今期必ずフォアでインカレ入賞します。精一杯頑張りますので、今後とも温かいご支援、ご声援のほどよろしくお願いいたします。

女子ダブルスカル S:平子ともみ(3年)

今回のレースの敗因は最後までレートを上げ切ることができなかった点です。レース中は常に相手が視界に入っており、拮抗している状態でした。そのような中でいつラストスパートをしかけるかを見極められなかったこと、ラストスパートをしかけても最後まで持たなかったことが、あのコンマ差での敗北に繋がりました。深く反省しています。

しかし、今回良かった点もありました。それは、私の課題であったリズムの悪さを改善できた点です。昔からの癖である悪いリズムを改善し、良いリズムで漕ぎ切ることができたことはこの冬トレの成果だと言えます。

反省点はしっかりと受け止め、今後のレースシーズンに向けて修正します。

OB・OGの皆様、ご声援ありがとうございました。

女子シングルスカル 水鳥 律(4年)

悔しくて情けなくてしかたない結果となりましたが、そのような自分の実力を受け入れています。インカレまでの残りの5ヶ月は、自分の生活における最重要項目を「インカレで入賞すること」とし覚悟を決めてボートに向き合っていきたいと思います。



女子シングルスカルの水鳥です



OB エイトの方々です！優勝おめでとうございます！！



今大会のクルー紹介板です。

●●応援にお越し下さった方々(敬称略)●●

卒業年	学科	御名前	卒業年	学科	御名前	卒業年	学科	御名前
		副会長 川村信之			副会長 佐野武雄			部長 竹下隆晴
		特別会員 山内政勝	S62	M	都筑 宏	S62	E	木村正徳
H16	D	山口貴弘	H17	Zy	羽生田真英	H17	Zy	西雪健次朗
H17	Sc	西雪美樹	H20	DW	土岐良太	H20	DW	土岐真以
H22	ME	大隅 溪	H26	CM	出口悠人	H27	DW	早田陽紀
H27	ME	都築 亮						

●●白艇会費を下された方々(敬称略)●●

卒業年	学科	御名前	卒業年	学科	御名前	卒業年	学科	御名前
S62	M	都筑 宏	S62	E	木村正徳	H17	Zy	羽生田真英
H17	Zy	西雪健次朗	H17	Sc	西雪美樹			

ありがとうございました。大切にに使わせていただきます。

中日本レガッタ

3 日間とも風も穏やかで真夏のような暑さの中、中日本レガッタが開催されました。多くの選手が企業のクルーとのレースを通して、ベテランの選手から数多くのことを学び、自身の課題も見つけられた大会となりました。

日程 : 2018年4月20日(金)~22日(日)

場所 : 愛知県愛知郡東郷町 愛知池漕艇場 1000m

出漕クルー : 男子舵手付きフォア [C:渡辺紘平② S:永島健太郎④ 3:林 和史④
 2:梶浦拓海③ B:美奈川拓真②
 男子シングルスカル 会田知朗②
 女子舵手なしペア [S:水鳥 律(M1) B:平子ともみ④]
 女子シングルスカル 足立知里③]

○内、()内の数字は学年を示します。

◆男子舵手付きフォア◆

〈決勝〉

着順	クルー名	500m	1000m
1	トヨタ紡織	1:36.18	3:15.86
2	新日鐵住金	1:38.43	3:16.84
3	立命館大学	1:38.46	3:19.81
4	名古屋工業大学	1:44.27	3:33.29
5	金沢大学	1:46.46	3:36.93



男子舵手付きフォアがクルーミーティングの最中です。

◆女子舵手なしペア◆

〈決勝〉

着順	クルー名	500m	1000m
1	立命館大学 B	1:53.99	3:57.36
2	立命館大学 A	1:57.29	3:57.82
3	名古屋大学	2:07.64	4:18.60
4	名古屋工業大学	2:08.00	4:23.28



女子舵手なしペアのけり出しです。頑張ってください！！



◆男子シングルスカル◆

〈予選 F 組〉1 杯上がり

着順	クルー名	500m	1000m
1	関西電力美浜 B(長田)	1:57.37	3:54.40
2	チョープロローイングクラブ(斧澤)	2:08.81	4:08.10
3	岐阜経済大学 C(水貝)	2:03.34	4:24.03
4	岐阜大学(伊藤)	2:16.09	4:35.54
棄権	名古屋工業大学(会田)	-	-



左から2年の会田、3年の足立です。



3年の足立です。新人戦以外では初のシングルレースです！

◆女子シングルスカル◆

〈予選 B 組〉2 杯上がり

着順	クルー名	500m	1000m
1	富山国際大学 A(中島)	2:13.58	4:33.07
2	岐阜経済大学(原田)	2:17.45	4:45.10
3	名古屋工業大学(足立)	2:21.42	4:46.44
4	富山国際大学 C(鈴木)	2:24.41	4:48.04
5	トヨタ自動車 B(藤尾)	2:30.31	5:05.97
棄権	名古屋大学 A(岩淵)	-	-



コーチの原さんとクルーを見送ります！

〈敗復 B 組〉3 杯上がり

着順	クルー名	500m	1000m
1	チョープロローイングクラブ(北村)	2:23.03	4:55.80
2	名古屋工業大学(足立)	2:30.11	5:04.56
3	名古屋大学 C(宮崎)	2:35.33	5:10.51
4	トヨタ自動車 B(藤尾)	2:36.86	5:16.63



レースお疲れ様です！！

〈準決勝 A 組〉3 杯上がり

着順	クルー名	500m	1000m
1	デンソーC(中条)	1:53.70	3:52.45
2	デンソーB(上総)	1:59.02	3:59.25
3	トヨタ自動車 A(野村)	1:57.01	3:59.82
4	デンソーA(庄司)	1:57.59	4:00.90
5	チョープロローイングクラブ(北村)	1:59.55	4:08.94
6	名古屋工業大学(足立)	2:04.38	4:10.46
7	岐阜経済大学(原田)	2:02.60	4:13.61



M1 の水鳥と学生コーチの近藤さんです。



●クルーの言葉●

男子舵手付きフォア S:永島健太郎(4年)

新勸に奔走する中でも、自分たちにやれることは何か、伸ばせるものは何か、そういったことに意識を張り巡らせて臨んだレースでした。決勝のみの一発勝負に敗れたことはとてつもなく悔しかったです、事前に重点的に練習してきたポイントを本番でも出せた価値は大きいと思います。インカレ本番で笑うためにも、これからの練習でさらに自分たちを追い込んでいきます。

女子舵手なしペア B:平子ともみ(4年)

今回のレースでは自分自身納得する漕ぎができませんでした。真っ直ぐに艇を進められないことも一因ですが、各々がバラバラに漕いでおり、2人で艇を動かすことができていませんでした。今後は2人でよく話し合いをして、なぜ艇が動かないのか、どうしたら動くのかを明確にします。応援にお越し下さった皆様、ありがとうございました。

女子シングルスカル 足立知里(3年)

中日本レガッタは中部地区で唯一企業のクルーとレースができる機会でした。予選、敗復ではうまく自分の漕ぎをすることができました。しかし、準決勝ではほとんど企業のクルーしか残っておらず、緊張のためにスタートで焦ってバテてしまうなど、思ったように力を発揮できませんでした。メンタル面でも技術面でもさらに成長できるよう、これからの試合に向けて練習に励みます。



●●応援にお越し下さった方々(敬称略)●●

卒業年	学科	御名前	卒業年	学科	御名前	卒業年	学科	御名前
	白艇会会長	衣斐洋一	特別会員		山内政勝	H23	ME	原 清高

第8回学内レガッタ

5月12日(土)に第8回学内レガッタが行われました。風も穏やかで暖かい絶好のボート日和となりました。学部生だけでなく、教職員の方々にも参加していただき、新入生チーム3チームを含む計8チームが出漕しました。決勝では接戦の中、新入生チームである「FORCUS GOLDS」が1位を勝ち取りました。

終日、和やかな雰囲気で行われ、どのチームにも楽しんでいただけました。学内レガッタを通してボートの魅力が少しでも伝われば幸いです。

〈決勝〉

着順	クルー名	200m
1	FORCUS GOLDS	59.59
2	チーム大谷・北川研	1:01.04
3	重量級	1:10.03



優勝した FORCUS GOLDS の皆さんです。

エキシビションとして舵手付きフォアも出艇しました！



レースの様子です。



左から、2年の杉山、山田、1年の小島です。



参加者の方々です。1日ありがとうございました！

冬期トレーニング報告

いつも艇跡を読んでいただき、誠にありがとうございます。主将の林和史です。

OB・OGの皆様が私たちに一層興味を持って頂けるよう、今年度どのように冬期トレーニング(12月～3月末迄)に取り組んだかをお伝えできればと思い、本稿掲載に至りました。一読いただければ幸いです。

【冬期トレーニングで取り組んだこと】

毎週6日の合宿生活では、体力向上のためエルゴメニューでは60分UTトレーニングに取り組み、時間に余力のある休日は1回の乗艇練習で20km以上漕ぎ込みました。

また個々の漕艇技術向上のため、乗艇後のミーティングでは各人が課題に対して如何に取り組み、結果どうなったかなどを話し合うことに努めました。

さらに、各艇ごとに艇の動かし方や練習方針について共通認識を持つことも大切と考え、“共通認識”を毎練習前や練習後に確認してクルー全体としての成長にも努めました。

【冬期トレーニングの成果】

上記のように取り組んだ冬期トレーニングの結果は次の通りです。

①各選手の体力向上

→ほぼ全員の選手がエルゴスコア向上を達成し、中には10秒以上スコアを縮めることができた選手もいました。

冬トレ前後のエルゴスコアの比較

学年	氏名	冬トレ前	冬トレ後
3	林和史	06:54.9	06:49.0
3	平子ともみ	08:09.3	08:06.7
2	足立知里	07:59.1	07:55.7
2	梶浦拓海	07:15.9	07:09.1
1	美奈川拓真	07:03.4	06:51.9
1	会田知朗	07:37.2	07:23.7
1	山田俊	07:39.9	07:36.9

②漕艇技術の向上

→冬期以前より艇が進むようになったと考えております。

長い冬期トレーニングを経て、いよいよ4月より試合シーズンに入りました。インカレ入賞は、コーチから与えられた指示をただ漠然とこなすのでは当然得られるものではないと考えています。勝つために今自分たちに不足していることを考え、クルー間で共有しながら実行していく、そうした先に「インカレ入賞」はあると考えています。

今後の予定

今後の予定をお知らせいたします。

●●●観漕会・激励会●●●

日程 : 2018年8月5日(日) 観漕会 10:30～
激励会 12:00～

※10:00に高畑駅に送迎車をご用意いたします。ぜひご利用ください。

場所 : 庄内川艇庫
会費 : 6,000円

1週間後の関西選手権、1ヶ月後インカレに向けて、OBOGの皆様方に漕ぎをご覧いただき、アドバイスを頂きたく存じます。皆様のご参加お待ちしております。ご多用とは存じますが、7月27日(金)までに
に出欠ハガキにて出欠をお知らせ下さいませようお願いいたします。

●●関西選手権競漕大会●●

日程 : 2018年8月11日(土)～12日(日)
場所 : 大阪府高石市 大阪府立漕艇センター 2000m
出漕クルー : 男子舵手付きフォア、女子シングルスカル

インカレ前の最後の大会となります。必ず勝利し、インカレに向けて弾みを付けたいと考えております。ご都合がよろしければぜひお越しください。

●●全日本大学選手権大会●●

日程 : 2018年9月6日(木)～9日(日)
9月2日(日)より戸田入りいたします。
場所 : 埼玉県戸田市 戸田ボートコース 2000m
出漕クルー : 男子舵手付きフォア、女子シングルスカル

今シーズンの集大成として、Bファイナル進出という今期の目標を達成できるよう、全力で漕ぎ切ります。たくさんの皆様に応援にお越しいただきたいと思っております。今年の宿泊場所は、元蔵会館です。

●●インカレ納会●●

日程 : 2017年9月16日(日) 13:00～
場所 : 庄内川艇庫

今期を振り返り、成果や反省をOB・OGの皆様方と語り合い、来期のスタートへの決意をしたいと考えております。ぜひお越しください。

変更・詳細はメーリングリスト・HP・電話にてお知らせいたします。